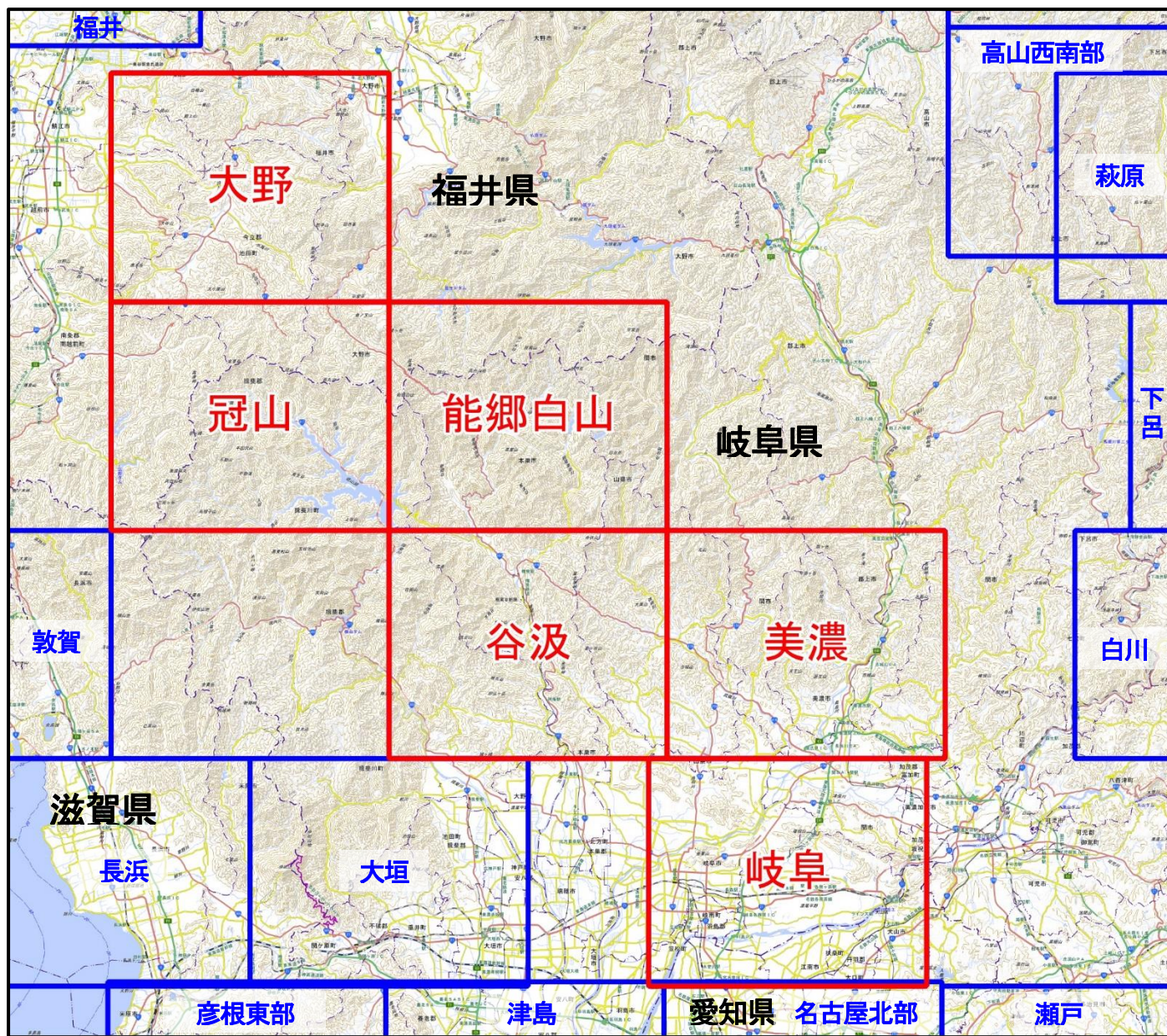


位置図

資料2

1:25,000 活断層図「大野」「冠山」「能郷白山」「谷汲」「美濃」「岐阜」



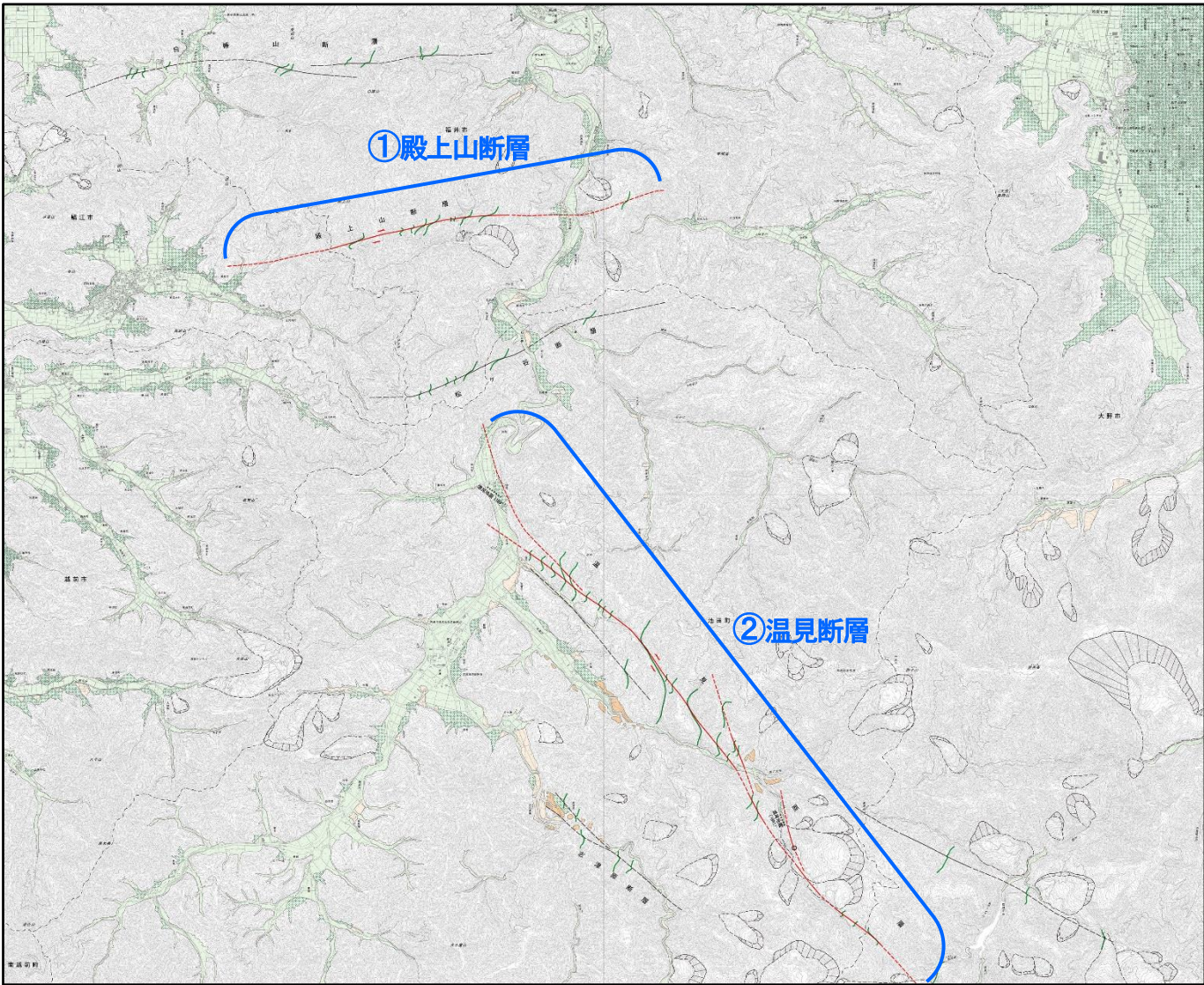
公開図郭



整備済図郭

概要

1. 1:25,000 活断層図「大野」



2. 今回の調査で得られたこと

「大野」図葉には、^{でんじょうざん}殿上山断層約 8km、^{ぬくみ}温見断層約 14km とその他の推定活断層を表示しています。
表示した活断層は、以下のとおりです。

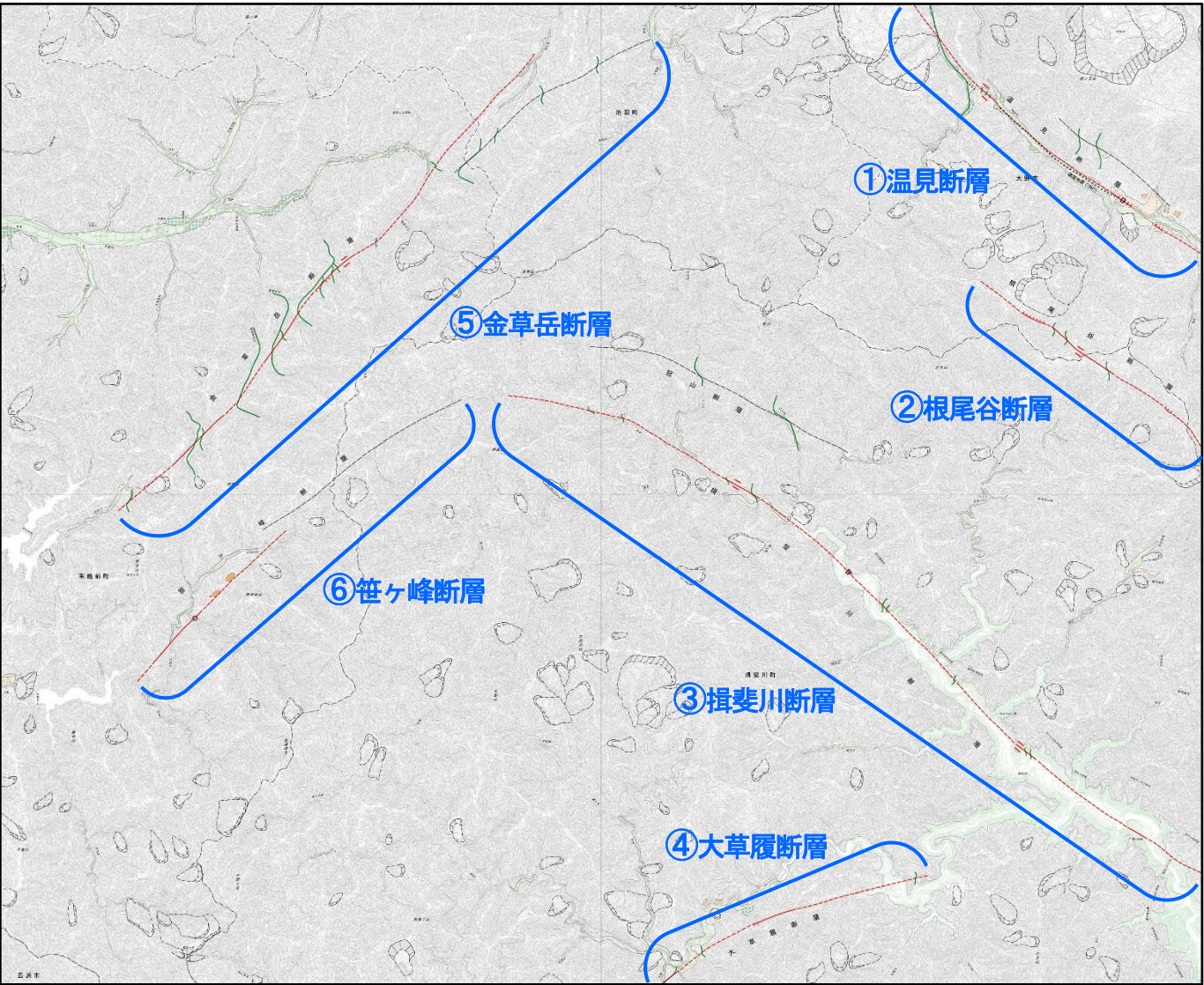
	断層名	断層について	長さ
①	^{でんじょうざん} 殿上山断層	福井市西市 ^{にしいちぬのちやう} 布町付近から殿上山の南側を経て鯖江市 ^{おぼなちやう} 尾花町付近まで、ほぼ東西方向に延びる約 8km の右横ずれ※の変位を伴う活断層です。断層全体に変位による谷の右屈曲が確認できます。	約 8km

②	ぬくみ 温見断層	福井県池田町 もちこし 持越付近から大野市の くもかわ 雲川ダムの南西まで、分岐断層を伴いながら北西から南東に延びる約 14km の左横ずれ※の変位を伴う活断層です。断層全体に変位による谷の左屈曲が確認できます。 また、濃尾地震（1891）時には、本図内の温見断層沿いないしその近傍の 2 箇所において地震断層が出現したことが報告されています。	約 14km
---	----------------------------	---	--------

注：断層の長さは本図に表示されている範囲です。
 「※」は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図「冠山」



2. 今回の調査で得られたこと

「冠山」図葉には、^{ぬくみ}温見断層約 7km、^{ねおだに}根尾谷断層約 5km、^{いびがわ}揖斐川断層約 16km、^{おおぞうり}大草履断層約 5km、^{かなくさだけ}金草岳断層約 13km、^{ささがみね}笹ヶ峰断層約 8km とその他の推定活断層を表示しています。

表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について	長さ
①	^{ぬくみ} 温見断層	福井県大野市を流れる温見川に沿って北西から南東に延びる約 7km の左横ずれ※を主体とした活断層です。一部に南西側隆起（北東落ち）の縦ずれ※の変位を伴っています。また、本図内の温見断層沿いには濃尾地震（1891）時に地震断層が出現したことが報告されています。	約 7km

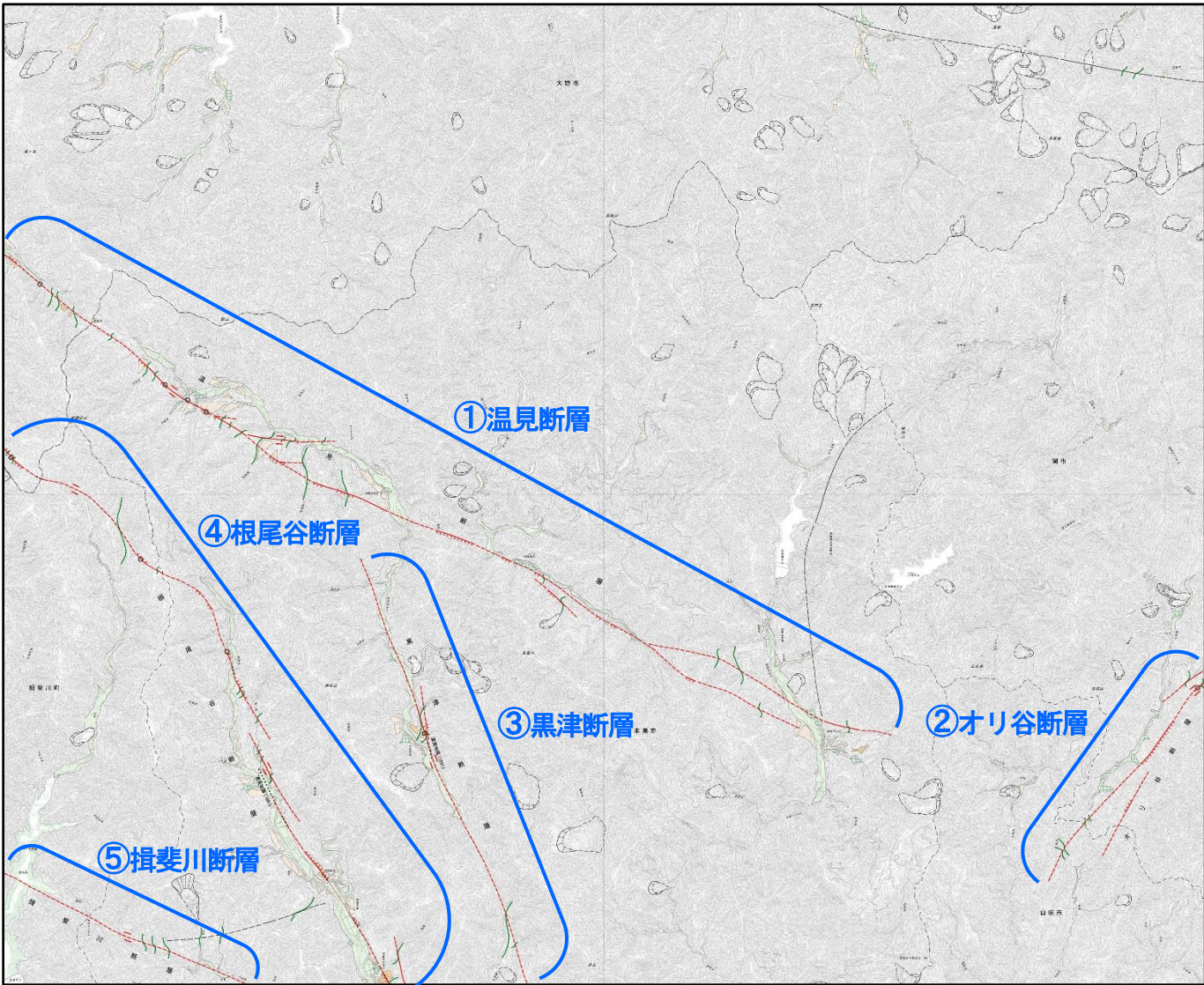
②	ねおだに 根尾谷断層	福井県大野市と岐阜県揖斐川町の境界にある若丸山 ^{わかまるやま} の北東部から南東に延びる約 5km の左横ずれ [※] を主体とした活断層です。断層中央部には、変位による谷の右屈曲が確認できます。 一部の区間では南西側隆起（北東落ち）の縦ずれ [※] の変位を伴っています。	約 5km
③	いびがわ 揖斐川断層	岐阜県揖斐川町の釈迦嶺 ^{しゃかみね} 北方から徳山湖 ^{とくやまこ} に沿って南東に延びる約 16km の左横ずれ [※] の変位を伴う活断層です。全体的に変位による谷の左屈曲が確認できます。	約 16km
④	おおぞうり 大草履断層	岐阜県揖斐川町の徳山湖 ^{とくやまこ} 西域から黒谷まで東から西南に延びる約 5km の断層です。一部の区間に変位による谷の右屈曲が確認できます。	約 5km
⑤	かなくさだけ 金草岳断層	福井県池田町河内付近から金草岳 ^{こうち} の北西部を経て天草山 ^{あまくさやま} 西南に延びる約 13km の右横ずれ [※] の変位を伴う断層で、北東部は推定活断層となっています。断層中央部から西南部にかけて、変位による谷の右屈曲が確認できます。	約 13km
⑥	ささがみね 笹ヶ峰断層	岐阜県揖斐川町の釈迦嶺 ^{しゃかみね} の北西から笹ヶ峰の北西を経て、福井県南越前町の鈴谷川 ^{すずたにがわ} 付近まで延びる約 8km の断層です。断層の東側は推定活断層（位置不明確を含む）となっています。	約 8km

注：断層の長さは本図に表示されている範囲です。

「※」は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図「能郷白山」の概要



2. 今回の調査で得られたこと

「能郷白山」図葉には、温見断層約 19km、オリ谷断層約 5km、黒津断層約 9km、根尾谷断層約 12km、揖斐川断層約 5km とその他の推定活断層を表示しています。

表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について	長さ
①	温見断層	福井県大野市の白谷付近 (図郭西端) から温見峠を経て、岐阜県本巣市根尾下大須付近まで北西から南東に分岐断層を伴いながら延びる約 19km の左横ずれ*を主体とした北東側隆起 (南西落ち) の縦ずれ*の変位を伴う活断層です。 断層全体に変位による谷の左屈曲が確認できます。	約 19km

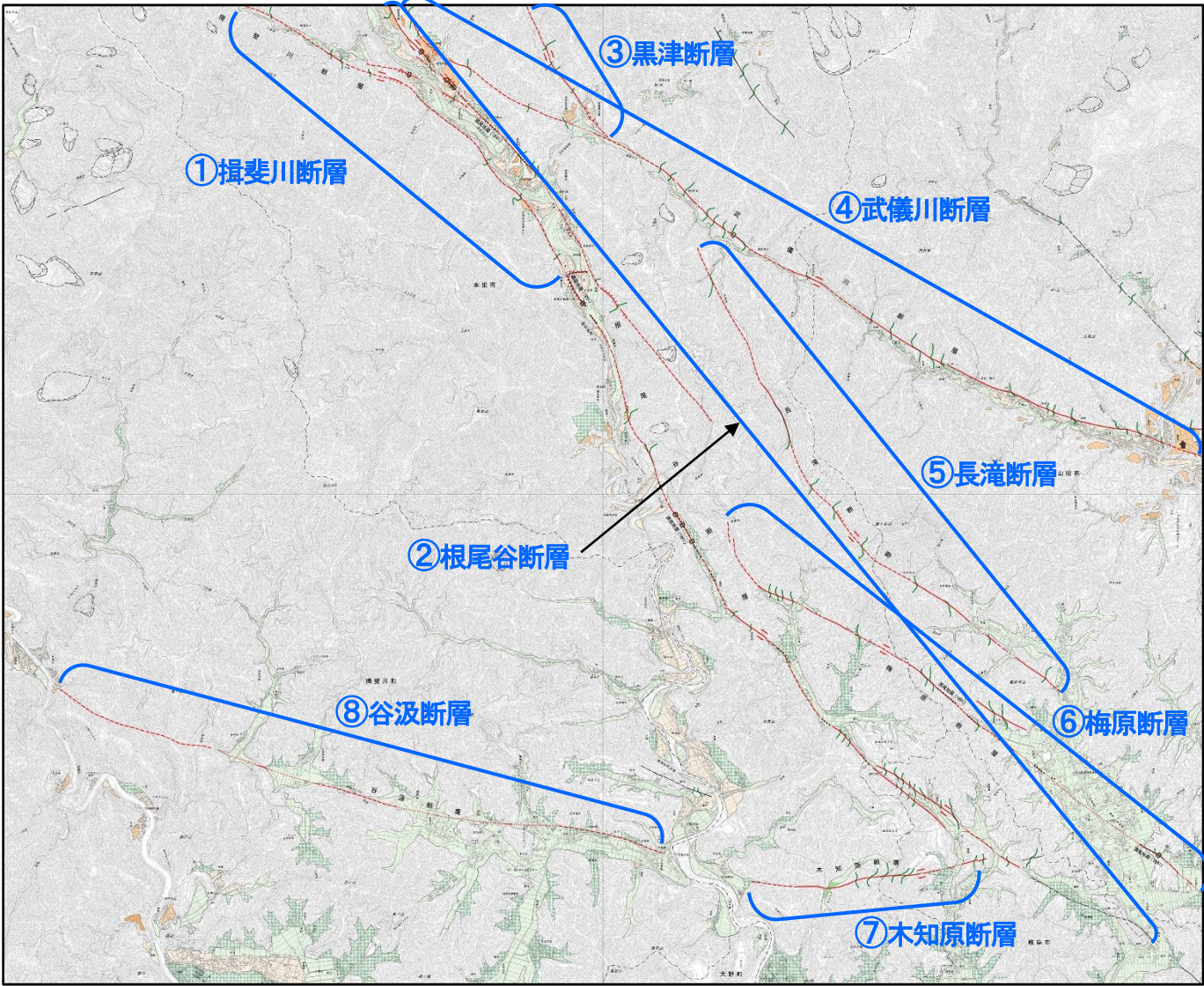
②	オリ谷断層 たに	岐阜県山県市白岩 しらいわ 付近から分岐断層を伴いながら明石谷 あけしだに の右岸に沿って、北東から南西に延びる約 5km の右横ずれ*を主体とした北西側隆起（南東落ち）の縦ずれ*の変位を伴う活断層です。一部に変位による谷の右屈曲が確認できます。	約 5km
③	黒津断層 くろづ	岐阜県本巣市の越新谷 おしんだに 付近から同市根尾黒津を経て尾砂谷 おさごたに 付近まで、北西から南東に直線的に延びる約 9km 左横ずれ*の変位を伴う活断層で、変位による谷の左屈曲が確認できます。一部に南西側隆起（北東落ち）の縦ずれ*の変位が確認できます。また、本図内の断層の中央部付近では、濃尾地震（1891）時による地震断層が出現したことが報告されています。	約 9km
④	根尾谷断層 ねおだに	福井県大野市と岐阜県揖斐川町の境に位置する能郷白山 のうごうはくさん の南西部から岐阜県本巣市根尾天神堂 ねおてんじんどう まで分岐断層を伴いながら北西から南東に延びる約 12km の左横ずれ*を主体とした活断層です。一部に変位による谷の左屈曲が確認できます。また、濃尾地震（1891）時には、能郷白山付近以南の根尾谷断層沿いにおいて地震断層が出現したことが報告されています。	約 12km
⑤	揖斐川断層 いびがわ	岐阜県揖斐川町の徳山湖付近から本巣市小倉 おぐら 付近まで、北西から南東に延びる約 5km の左横ずれ*を主体とする活断層です。変位による谷の左屈曲が確認できます。	約 5km

注：断層の長さは本図に表示されている範囲です。

「※」は、参考資料2の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図「谷汲」



2. 今回の調査で得られたこと

「谷汲」図葉には、^{いびがわ}揖斐川断層約 8km、^{ねおだに}根尾谷断層約 24km、^{くろづ}黒津断層約 3km、^{むぎがわ}武儀川断層約 18km、^{ながたき}長滝断層約 11km、^{うめはら}梅原断層約 12km、^{こちほら}木知原断層約 5km、^{たにぐみ}谷汲断層約 12km とその他の推定活断層を表示しています。

表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について	長さ
①	^{いびがわ} 揖斐川断層	本巢市 ^{たんぼら} 田洞付近から八谷谷 ^{やたにだに} に沿って兩岸を根尾西谷川 ^{ねおにしたにがわ} まで二条の断層線が北西から南東に並走する約 8km の左横ずれ [*] を主体とした活断層です。全体的に変位による谷の左屈曲が確認できます。北側の断層は同市 ^{ねおおっそ} 根尾越卒で、南側の断層線は同市 ^{ねおみどり} 根尾水鳥で根尾谷断層に接続しています。同市大井 ^{おおい} の西方に北東側隆起（南西落ち）の縦ずれ [*] 変位が確認できます。	約 8km

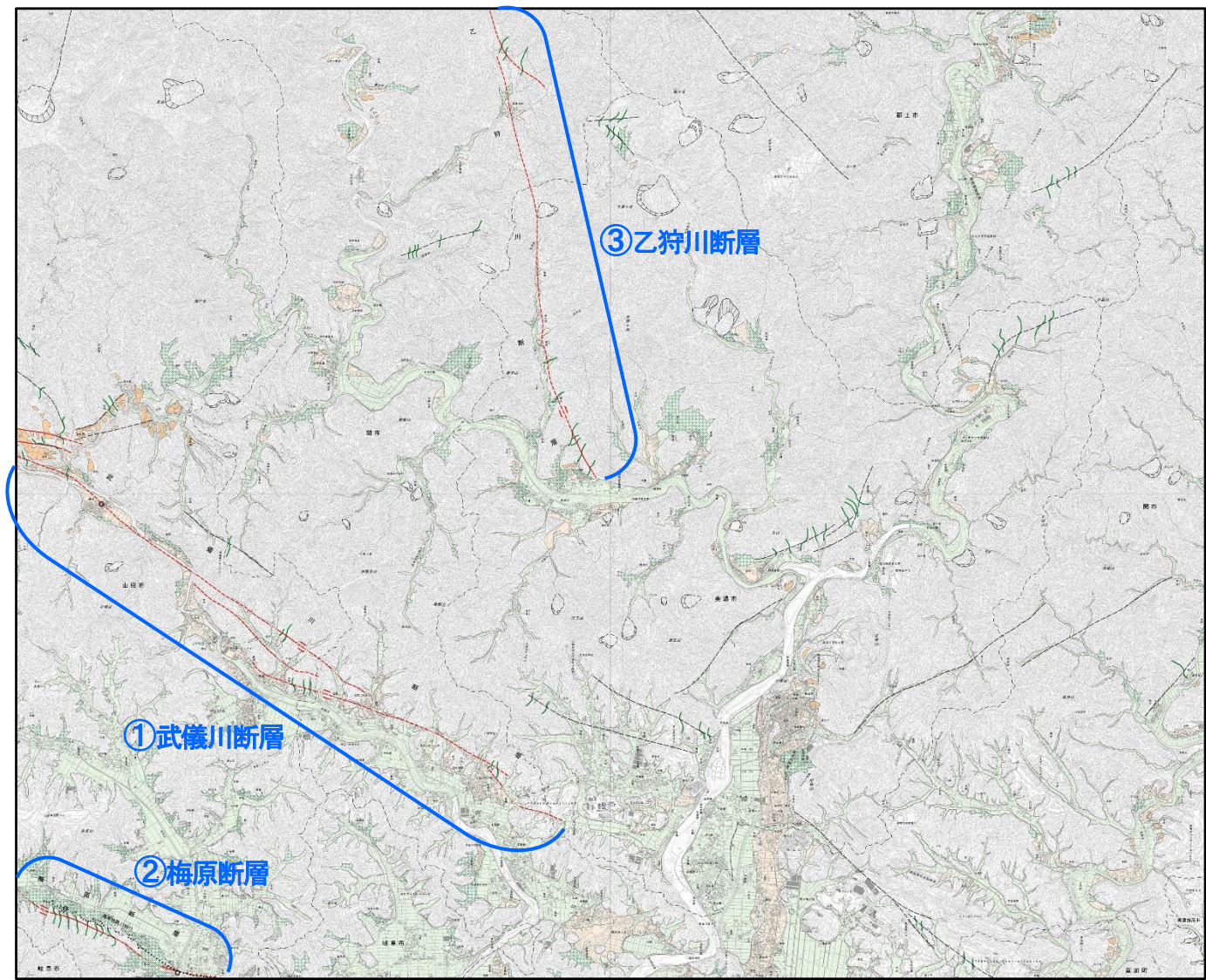
②	根尾谷断層	本巣市根尾長嶺付近から同市根尾水鳥で西側に大きく位置を変え、岐阜市岩利付近まで全体的には北西から南東に直線状に延びる約 24km の左横ずれ※を主体とする活断層です。断層の中央部にあたる根尾水鳥付近では、断層線はクランク状に屈曲し、直線状の本断層の中でも特異な形状を示しています。断層全体に変位による谷の左屈曲が確認できます。また、一部の区間に濃尾地震（1891）による地震断層が出現したことが報告されています。	約 24km
③	黒津断層	本巣市根尾東板屋付近で武儀川断層から分岐して北西に延びる約 3km の左横ずれ※変位を伴う活断層です。断層の中央部に変位による谷の左屈曲が確認できます。根尾東板屋では、南西側隆起（北東落ち）の縦ずれ※変位が確認できます。	約 3km
④	武儀川断層	本巣市根尾長嶺付近から山県市田栗まで武儀川に沿って北西から南東にほぼ直線状に延びる約 18km の左横ずれ※を主体とした活断層です。断層全体に変位による谷の左屈曲が確認できます。根尾東板屋付近で北西から延びる黒津断層が合流しています。	約 18km
⑤	長滝断層	本巣市根尾口谷付近から山県市長滝を経て同市掛まで、北西から南東に延びる約 11km の左横ずれ※を主体とする活断層です。断層全体に変位による谷の左屈曲が確認できます。釜ヶ谷山西方に南西側隆起（北東落ち）の縦ずれ※変位が確認できます。	約 11km
⑥	梅原断層	本巣市金原付近から山県市山ヶ崎まで分岐断層を伴いながら北西から南東に延びる約 12km の左横ずれ※を主体とする活断層です。断層の中央から西側に変位による谷の左屈曲が確認できます。また、一部の区間に濃尾地震（1891）による地震断層が出現したことが報告されています。	約 12km
⑦	木知原断層	岐阜市雛蔵付近から本巣市木知原までほぼ東西に延びる約 5km の活断層で、断層中央付近に変位による谷の右屈曲が確認できます。	約 5km
⑧	谷汲断層	揖斐川町東津波から同町東屋敷まで北西から南東へ延びる約 12km の活断層です。断層の大部分が伏在部と位置やや不明確となっています。	約 12km

注：断層の長さは本図に表示されている範囲です。

「※」は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図「美濃」



2. 今回の調査で得られたこと

「美濃」図葉には、武儀川断層約 13km、梅原断層約 4km、乙狩川断層約 9km とその他の推定活断層を表示しています。

表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について	長さ
①	武儀川断層	山県市笹賀付近から美濃市市場付近（丸山古窯跡西方）にかけて、北西から南東に分岐断層を伴いながら延びる約 13km の左横ずれ※を主体とする活断層です。本図内の断層の両端付近及び中央付近では、変位による谷の左屈曲が確認できます。	約 13km

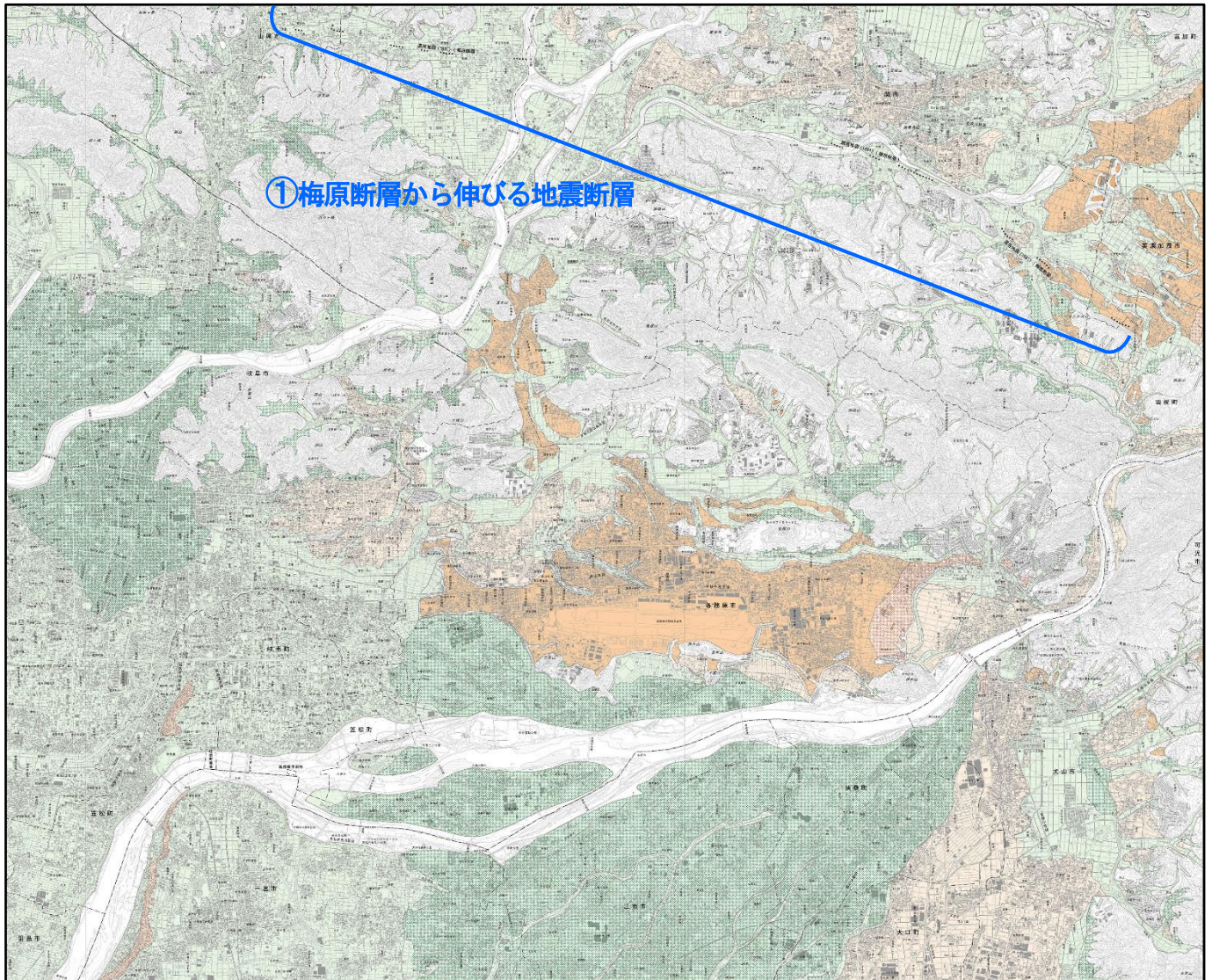
②	梅原断層 うめはら	山 ^{うめはら} 県市梅原付近から山 ^{やまもと} 本付近にかけて北西から南東に延びる約 4km の左横ずれ※を主体とする活断層です。断層の中央部に変位による谷の左屈曲が多数確認できます。また、本図内の断層全体に濃尾地震（1891）による地震断層が出現したことが報告されています。	約 4km
③	乙狩川断層 おとがりがわ	乙狩川断層は、関市洞戸 ^{ほらどうか} 高賀付近から美濃市上野 ^{かみの} まで、乙狩川に沿ってほぼ南北に延びる約 9km の左横ずれ※を伴う活断層です。断層の北部と南部に変位による谷の左屈曲が確認できます。	約 9km

注：断層の長さは本図に表示されている範囲です。

「※」は、参考資料2の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図「岐阜」



2. 今回の調査で得られたこと

「岐阜」図葉には、北側に隣接する「美濃」図葉の梅原断層^{うめはら}から延びる地震断層（①）約 17km（本図に表示されている範囲）とその他の推定活断層を表示しています。

梅原断層から延びる地震断層は、北側に隣接する「美濃」図葉の梅原断層から延びる濃尾地震（1891）に伴う地震断層が、関市、美濃加茂市^{さかほぎちよう}を経由して坂祝町^{さかむね}まで、北西から南東に約 17km にわたって断続的に分布しています。

この地域には、南流する戸羽川^{むぎがわ}や武儀川^{なからがわ}・長良川沿いに谷底平野が形成されていますが、これらを東西方向に横切る低地が発達しており、これは梅原断層に沿う断層谷とみなされます。濃尾地震時に現れた地震断層は、その後の耕地整理や人工改変を受けているため、写真判読では位置が検出できません。また、当域の梅原断層は活動間隔が長く、変位速度も大きくないので、明確な変位地形は確認できません。